

# 議事録

会議名	第9回松江市伝統文化芸術振興審議会
日時	令和7年3月26日(水)13:30~15:30
会場	松江市役所 3F「第1常任委員会室」※一部オンライン
出席者	委員
	出席委員 14名（欠席委員1名） 【出席委員】 垣内恵美子会長、小泉凡副会長、石橋淳一委員、伊藤万耶委員、大隅宏明委員、 小野亮委員、河野美知委員、小林准士委員、園山土筆委員、高屋茂男委員、田中昌子委員、 原田順子委員、森山俊男委員、山本一成委員 【欠席委員】 田中豊委員
	松江市(事務局)
	上定昭仁(松江市長) 桑原賢司(文化スポーツ部長)、今岡広樹(文化振興課長)、 平塚久美子(文化政策係長)、木村志成(文化政策係主事)、
次第	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 議事 (1)松江市伝統文化芸術振興計画 第1期実施計画について ①令和6年度中間報告 (2)松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画について ①第2期実施計画の策定について ②令和7年度事業計画 5. 意見交換 6. その他 7. 閉会

## 1. 開会

(桑原部長)	<ul style="list-style-type: none"><li>今回の会議は一部オンライン会議とする。</li><li>審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、公開の会議とする。</li><li>議事録作成のため録音を行う。</li></ul>
--------	---

## 2. 市長あいさつ

(上定市長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本日の審議会では、「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」についてお諮りする。</li><li>・ 第1期実施計画は、「種まき期」と位置づけ、令和3年度から今年度までを対象として取り組んできた。</li><li>・ この間、「さんびる文化センタープラバホール」と「カラコロ工房」の改修・リニューアルオープンがあった。また、ものづくり文化を支える匠の技を見て体験していただく「職人商店街」の形成にも取り組み、伝統文化・芸術が体験できる機会というもの多数設けさせていただいた。</li><li>・ 種まき期ではあるが、少しずつ松江において、文化芸術が育っていく芽が出て、また大きくなり始めているのではないかと実感している。</li><li>・ 第2期は令和7年度から令和10年度までの4年間を対象期間として設定している。</li><li>・ 今回の会議にあたり、あらかじめ委員の皆様には計画(案)をご確認いただき、多数のご意見をいただいた。</li><li>・ 本日はそのご意見を踏まえたうえで、計画(案)を改めて提案させていただく。</li><li>・ 第2期実施計画の初年度である令和7年度においては、国宝松江城が国宝化されて10周年の節目を迎える。</li><li>・ 6月28日・29日には、「お城 EXPO」や、5つの国宝天守を有する5市長が集まった「国宝五城サミット」を開催する予定としている。</li><li>・ また、秋からは小泉八雲とセツのドラマ「ばけばけ」の放送も予定されている。これは松江市の魅力や価値を高めていく、非常に大きな千載一遇のチャンスと言って過言ではない年になると思っている。</li><li>・ そのような年に向けて第2期実施計画を策定いただき、小泉八雲に「神々の首都」と世界に松江の名を広めてもらったということ踏まえ、また再び松江の魅力に磨きをかけ、それを発信していく年にしていきたい。</li><li>・ 委員の皆様には忌憚のないご意見をいただくとともに、松江の伝統文化芸術の振興にお力添えをいただきたい。</li></ul>
--------	---

## 3. 会長あいさつ

(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本日は第2期に向けた会合である。先ほど上定市長より説明があったように、第1期は種まき期であり、コロナの影響もあつた中ではあるが、非常に多様な活動を展開され芽吹きを感じた。</li><li>・ 本日も市長が文化の会合に出席され、松江市の文化に対する熱意・心意気を感じ、大変心強く思っている。</li><li>・ 第2期については、これから成長期に入り、さらに千載一遇のチャンスということでもあるので、ぜひ委員の皆様バックグラウンドを踏まえた積極的なご議論をいただきたい。</li></ul>
--------	--

4. 議事	
(平塚係長)	(1)「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」について ①令和6年度事業の中間報告 <説明>
(今岡課長)	(2)「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」について ①第2期実施計画の策定について <説明>
(垣内会長)	事務局からの説明を踏まえ、意見交換をお願いしたい。
(小林委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立図書館についての記載がほぼない。</li> <li>・ 「さんびる文化センタープラバホール」の枠の中に入っているのかもしれないが、図書館も文化財や伝統芸術を知るという意味では重要な場ではないかと思う。</li> <li>・ 図書館は郷土資料や小泉八雲関係の資料なども収蔵されている。歴史館やプラバホールは「見る・聞く」という享受する場所で、図書館とか文書館というものは市民が自分で調べる・学ぶ場であり、より主体的な関わり持つ場である。</li> <li>・ 図書館は文化財や芸能など様々なことを学ぶ場であり、また小泉八雲の講座もやっている。そういう意味では歴史館と同じテイストをもっていると考え、図書館が位置づけられていないのはどうしてか。</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館は社会教育施設ですので、どこまで書くのかは難しいところではある。</li> <li>・ 事務局の考えを伺う。</li> </ul>
(今岡課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館は、文化的な情報を市民の皆様が見ることができ、またそこで研究もできる場であると思う。</li> <li>・ この機能は市民の皆様が文化に触れる拠点となるもので、また市民の皆様にもそれを認識していただく必要があるため記述すべきであると考え。</li> <li>・ 中央図書館、島根町、東出雲町にも郷土資料が収納されている図書館があるため、記述の仕方については検討する。</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館だけではなく、公民館や福祉施設など、様々なところで文化的な活動が行われている。</li> <li>・ こういったところも配慮しながら、事務局に記載をお願いする。</li> <li>・ それでは、事務局からの説明を踏まえ、「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画(案)」について、承認を頂ける方の挙手を求める。</li> <li>・ 挙手多数で、事務局案は承認された。</li> <li>・ それでは、「議事」の続き事務局から説明をお願いする。</li> </ul>
(平塚係長)	(2)「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」について ②令和7年度事業計画について <説明>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「令和7年度事業計画」について、ご意見や質問等ある方は発言をお願いする。</li> <li>・ 全委員の皆様からご意見をいただきたいと思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは山本委員から事前にいただいた意見について事務局より願います。</li> </ul>
(今岡課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山本委員からの意見について説明する。</li> <li>・ 計画における各柱とも目標に向かって順調に進んでいると思う。</li> <li>・ 一方で、各柱によって内容や進捗状況が異なることから、全体としてのまとまりが難しくなることを懸念している。</li> <li>・ 今一度、各柱を横断するような全体的にまとまった事業の構築が必要であるかもしれない。</li> <li>・ 幸いなことに、この秋に朝の連続テレビ小説「ばけばけ」が放映される。</li> <li>・ 例年、秋の観光シーズンには多くの人々が松江を訪れるが、この秋は例年以上の人出になると予想される。また「ばけばけ」はどの柱にも関係することであると思う。</li> <li>・ 今の段階ではドラマの内容の全貌が見えていないため、今日の会議ではそれを反映した計画は上程できないと思うが、次回の会議にはそれを絡めた何かしらの計画が上程されるといいかと思う。</li> <li>・ とにかく「ばけばけ」はグッドタイミングの大チャンスであるので、それをうまく生かし、松江市伝統文化芸術振興をさらなる高みへもっていくことを期待し、協力していく。</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画実施にあたっての配慮事項、また具体的な事業展開にあたってのコメントをいただいた。</li> </ul>

5. 意見交換	
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 続いて、森山委員に願います。</li> </ul>
(森山委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2期実施計画を拝見し、非常に分かりやすくできていると思う。</li> <li>・ 「市民の生活に根づく茶の湯文化」ということだが、松江市は「お茶どころ、お菓子どころ」と呼ばれている。</li> <li>・ 松江はスーパーで抹茶が買えるところと観光客の方に話をしていたが、去年は百貨店がなくなり、今年は大型店のお茶屋さんが撤退されるということで、逆にその話をしたら関係者から、大型店がないからスーパーで売れているのですねと言われた。</li> <li>・ 市民に茶の湯が浸透した松江であったが、少しずつその陰が薄くなりつつあるのではないかと感じた。</li> <li>・ 市長からお話があったように、「職人商店街」や「カラコロ工房」がオープンし、カラコロ工房には茶室も作っていただいた。</li> <li>・ 島根県茶道連盟が来年度 4 月から島根県全県下の各流派の茶道歳時記をまとめたものには、カラコロ工房を使われる流派さんが非常に多くある。</li> <li>・ また後継者育成も大切であるので、今後もカラコロ工房等を使った茶の湯の発展やインバウンドの方・観光客の方にもお使いいただけるものになると考える。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、「案内看板の多言語化」とあったが、インバウンドの人が増えているなか、特に今年の5月は韓国の方が毎週およそ15人、多い時には39人ほど来られ、個人の方も韓国の団体の方も増えている。</li> <li>・ そういった方が地図をもって明々庵のほうへ来ていただくが、それが非常に分かりづらいものになっている。</li> <li>・ 案内看板をいろいろなところへ設けられると思うが、QRコードを付けてみてはいかが。</li> <li>・ 最近の方はスマホを持っているので、QRコードを読み込むことで、その位置からどうやって目的地へいくことができるか、松江の文化力を知ってもらえる各施設へいくことができるかが分かるようになり、そうすることが松江市の文化力の発信に繋がると思う。</li> <li>・ 韓国の方が来られたのは、松江市の文化を体験したいということが今回の一つの趣旨であった。</li> <li>・ まず由志園の庭を見る、松江城へ行く、そして茶の湯体験をしたいということで明々庵には寄っていただいた。その後は八重垣神社へ行き、「鏡の池」の占いをするというので、やはり松江の文化を体験するために、観光客の方はこの松江市にきていただいていると感じた。また一般の方であるが、ハワイの高校生も松江に来たらお茶の体験をしていただくが、日本ならではの着物で体験をしたいと言われ、着物でいらっしゃる。</li> <li>・ 松江の中で文化を生かした体験を、カラコロ工房などで総合的にこの7つの柱で第2期をいかに育てていくかと考えている。</li> <li>・ 茶の湯のことで言わせていただくが、4月24日は不昧公の命日であり、月照寺で「茶筥供養」がある。</li> <li>・ 昔は稚児行列があり小さなお子さんが行っていたが、コロナ禍で少しずつなくなってきたが、稚児行列をすれば、茶の湯や伝統文化の見直しが図られるのではと思う。</li> <li>・ 新しい施設を使って新しい文化を発信することもあるが、美保関の「墨付けとんど」のように、やはり昔ながらの行事の見直しも盛り込んではどうかと考える。</li> <li>・ 「ばけばけ」もあり、今後は「塩見縄手周辺」が観光のスポットになると思うが、11月3日に「お堀のほとりで～見る・知る・食べる！～」というイベントを田部美術館主催で初めて行った。こういったイベントも民間でやるには限界もあるので、情報発信など行政の力も借りてやっていけたらと思う。</li> </ul>
(田中昌子委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美保関地区は「重要伝統的建造物群保存地区」の選定に向けて取り組んでいるが、建物について書かれていないのではないかと。</li> <li>・ 今年の1月末からの二日間、「全国まちづくり会議」ということで全国47都道府県からまちづくりに関しての建築士が集まり、特に白湯エリアについて話し合いをした。</li> <li>・ その中で「松江の魅力は不便さである」と言われ、分かりやすさというものでは</li> </ul>

	<p>なく「分かりにくさ」が魅力と言われ驚いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明々庵へのアクセス方法などについても、隠れ家的なものを見つける喜びのような、分かりにくさを逆手に取ることも面白いのではないかと思う。</li> <li>・ 松江駅から観光施設までのアクセスの不便さについても、探すことを逆にとり、そこから見つけ出した喜びを味わってもらいたい。</li> <li>・ 不便さや整いすぎないところを「松江の味」にできたら、松江の伝統文化芸術にも良いのではないか。</li> <li>・ 周知については、こどもへたくさんチラシが配布されており、紙情報の多さがマイナスでもあると思う。紙ベースと電子データとを整理し、ペーパーレス化に取り組むと良い。</li> </ul>
(園山土筆委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振興計画の第 1 期が終わり、うまく整理され第 2 期の実施計画が分かりやすく作られている。</li> <li>・ 第1期計画期間に「しいの実シアター」で 7 回目の「森の演劇祭」を開催した。学校のこどもたちに開催期間中の平日にぜひ来ていただきたく、教育委員会と連携し、忌部・雑賀・意東・八雲・川津小学校、また、二中・美保関・八雲中学校から先生と一緒に観てもらった。</li> <li>・ その際、ブルガリアの劇団がアンデルセン童話をすべて日本語で 1 時間上演したが、海外の文化にふれた子供たち 482 名が非常に感動していた。</li> <li>・ 初めての世界を見ることで興味や関心が広がり、また外国の人が 1 時間日本語で演技をするというショッキングな出来事ではあるが、そういう世界を知ることに関心を覚えていた。</li> <li>・ 引率の先生たちも感動していたことも喜ばしいが、後日もらった感想では「もっと多くの児童生徒に見せたかった。このような授業があることに感謝し、また継続をお願いしたい」とあり嬉しかった。</li> <li>・ 振興計画の中で実施されたことは非常にありがたく、チケット代だけでなくバスの予約ができたことも、この事業計画が非常にうまくいっていることだと感じた。</li> <li>・ 芸術文化に対する興味というものを、心の底から感動するようなことをもっと頑張っていきたい。</li> <li>・ そのためには資金作りが大変であるが、松江市はどのように考えているか伺う。</li> </ul>
(今岡課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 期計画のなかでも、資金確保については大きなテーマとしているが、具体的な取組みとしては、今以上に文化に興味を持ってもらい、その分野へ「ふるさと納税」を積み立て、活用していく。</li> <li>・ また、文化に関わる皆様と、文化の素晴らしさを発信し、市民の皆様や事業所の皆様に興味を持ってご協力・ご協賛いただけるよう粘り強く取り組んでまいります。</li> </ul>
(小林准士委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江藩のおかかえ力士であった、雷電右衛門の 200 年企画というものがあるが、動きが見えない。その他、よくよく洗い出してみないとメモリアルイヤーが迫っているものに気づかないものもあるので、文化財課や史料調査課と連携し情</li> </ul>

	<p>報収集をしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、若槻禮次郎にかかることもあるので、情報収集によりメモリアルイヤーに付属した企画ができればと思う。</li> </ul>
(大隅宏明委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な情報発信のところで、情報が氾濫していて届けたい人に届かず埋もれてしまう、ということを感じている。</li> <li>市報ではイベント欄があるが、限られた文字数の中で情報が少ないので、例えば「プラバホール特集」や「国宝松江城特集」とし、その中に関連イベントを載せていくなどの工夫をしてはどうか。</li> <li>また主催者の立場や施設の立場は視点が違うこともあり、市民と主催者の間の橋渡しをする役割が必要であり、情報発信者として効果的な発信に取り組む必要があると考える。</li> <li>担い手育成について、松江市には素晴らしい音楽家がたくさんいる。我々は発掘し、その方々に活躍してもらおう取組みを行っているが、アーティストに活躍してもらおう場面がもっとあると良い。</li> <li>情報発信では、例えば宍道高校の野崎さんの人形の作品を見てみたいと強く思うのだが、その情報作者の「人となり」にふれてみたいと思もあるので、そのような人物の紹介にかかる情報発信もお願いしたい。</li> <li>それぞれの立場によって、松江の文化を盛り上げることが必要である。</li> </ul>
(石橋淳一委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は4年間、委員として意見を伝え、また、伝統芸能保護育成協議会でも直接市の担当者へ意見を述べる機会もあり、その後どう対応されたか分かりづらいところがあった。一方、本日の資料の説明は分かりやすく、事前に委員からも意見を聞き返答されているなかで、Q&amp;Aとしてキャッチボールできている。今後も、わかりやすく返答をいただきたい。</li> <li>「ばけばけ」が話題としてあるが、佐陀神能の中で「龍邪神」という八百万の神が導いてこられる「ウミヘビ」を観にヘルンさんが来たこともあるし、佐陀大神が誕生した加賀の潜戸も訪れている。そういったトピックもあり、可能であればドラマが放送された後に「考察チャンネル」のような、裏話があることをアピールできると、松江に興味を持ち訪れる人も増えるのではと考える。</li> <li>「地域の伝統芸能や祭りを親子で体験できる機会の創出」の中で佐陀神能体験を行ったが、たくさんの方に太鼓を叩いてもらったり、笛を吹いてもらったりと非常に良い機会となった。</li> <li>業者からは衣装の体験依頼もあったが、やはり「見て」もらい「再現する」ことが大切だと考えている。</li> <li>次世代への継承は、継続性が大切であるので、業者の考えと我々の考えの相違を埋めながら継承に取り組んでほしい。</li> <li>小学生・中学生の地域学習の時間、総合的学習時間の中で伝統文化にふれるとともに、継承することは非常にいい機会である。</li> <li>誇りをもって次代につないでいく、継承している人がいるということを知ること</li> </ul>

	<p>で、ふるさと松江の地盤ができるし、地元に残って継承していきたいという思いになるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ また郷土文化の継承には道具等の費用がかかるが、ほとんどボランティアでやっている。学校でも資金がなく外部講師を呼ぶのも先生が直接交渉をされており非常に手間がかかっているの、そういったところへの支援もお願いしたい。</li> <li>・ 小学 1 年生から中学 3 年生までに、佐陀神能(伝統文化)を学んでもらい、最後に魅力あるものだとして認識してもらい、という体系的なものを作りたいと思うが、なかなか難しい。</li> <li>・ 松江城に関しては学習に取り入れてもらっているが、地域に根づく特色ある伝統文化芸術もあるので学習として採用していただきたい。県は総合的学習の時間を縮小したが、時間を増やせば学力不足が解消されるというものでもないようなので、この授業を利用してもらいたい。</li> <li>・ 「地域に根づく伝統文化継承事業補助金」が創設され、実際に活用してみたが、上限5万円であり、少し使いづらい。</li> <li>・ 伝統芸能を継承している保護団体は資金がないので、その中で何かを買うにしても上限5万円では難しい。もう少し使いやすいものにしていただくと、利用率も上がり皆さんに喜ばれるものになると考える。</li> <li>・ 人口減少や過疎化により、伝統文化の継承が危機に瀕している。途切れた伝統を再度復活といわれるが、一度途絶えると再度復興することは非常に難しい。途絶える前にいろいろな方策をもって対応していただきたい。</li> <li>・ 意見を吸い上げ、適任な人材・知識ある人材を配置するとあるが、ぜひ民俗文化の分野でも知見がある方を採用し、今後の伝統文化の継承に向けて協力していただきたい。</li> <li>・ R7 年度の予算と事業数については、地域に根づく伝統文化の分野では、件数も少ないし予算も少ない。そこをもう少し見直して使いやすいものにしてほしい。</li> <li>・ 伝統文化芸術を次世代につなぐ事業を計画して実施するという団体に、自主的に手を挙げてもらえるようなシステムを構築することで、保存・継承や文化を広げる取組みを行ってほしい。</li> <li>・ 観光協会はこの振興計画を理解しているのか。外郭団体ではあるが、松江にある素晴らしい伝統文化を観光の方に知らしめる意味をもう少し考えて対応していただきたい。</li> <li>・ 佐陀神能はユネスコ無形文化遺産登録をされ、再来年 15 周年の節目だ。特別公開も 15 年続けているので、今後も協議を重ねていいものを作っていきたい。</li> </ul>
(伊藤万耶委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年 10 月に縁あって鑿行列に参加し、また松江伝統芸能祭も鑑賞したが、どちらもすごくもったいないという印象であった。</li> <li>・ 鑿行列は市内において大規模な交通規制を行って開催されるにもかかわらず、鑑賞者や鑿に関わる方が高齢であり非常にもったいないと感じた。</li> <li>・ 伝統芸能祭は、当日雨であったのでホールでの開催は良かったが、お祭りではな</li> </ul>

	<p>く発表会のように残念であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どちらも子どもが参加すると、親や、祖父母、知り合いが見に来ることもあるので、子どもの参加がもっと必要であると感じる。</li> <li>・ また先日ファーマーズマーケットに出店したが、水上ステージも同時開催であった。このようにイベントが2つ同時開催されると非常に盛り上がるので、お祭りイベントを組み合わせるといいと思う。</li> <li>・ イベントではワークショップや縁日があると親子連れで来場されることが多いので、体験型が良いと思う。</li> <li>・ 小学校3年生の授業で「松江の魅力」というテーマのプレゼンがあり、授業参観での発表ではそのプレゼンがクイズ方式であった。</li> <li>・ 私が分かっていないところも知ることができとても良かったので、通常の事業に松江の伝統や芸術を盛り込むと、それがすごく浸透するのではないかと思う。</li> <li>・ 私が保育園のときは「会津若松の白虎隊」を、小学校では「ソーラン節」をやったことがある。小さいころに何回も練習してやったことは体が覚えているので、松江の伝統芸能のコーチを呼んで練習して、運動会や音楽会で発表するのがいいと思う。</li> <li>・ 「まちそのものがアート」とあるが、松江は塩見縄手周辺の長屋・町屋のイメージがあるが、そういう建物を残してほしい。鑿行列も武者行列もまちを練り歩く祭りなので、昔ながらの建物、街並みを残すような建築の条件があるといいと思う。</li> <li>・ 先日、都野津町で空き家の古民家を利用した芸術祭「つめさんぼ」の主催者と話す機会があったが、建築の学校の講師であり、学生を巻き込んで行くと盛り上がると実感した。</li> <li>・ また、神在月には全国・海外から出雲大社に人が集まるが、SNS では出雲大社以外の島根に関する情報を聞く人が多くいる。そうした時に、出雲大社から松江に行く導線があればいいと感じた。例えば途中で玉湯温泉があり一泊してもらい、伝統である勾玉づくりを体験してもらい、といったことが情報発信できるのではないか。そして SNS は英語でハッシュタグを付けることで海外にも発信できるのではないかと思う。</li> </ul>
(河野美知委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江城国宝化 10 周年ということで EXPO も開催されるが、なかなかお城イベントで観光は難しいと考える。10 周年を機に他のお城とは違う、松江らしい魅力があることをアピールしていただき、インバウンドも取り入れられるように魅力強化に取り組んでいただきたい。</li> <li>・ また、鑿行列こそ体験型イベントとして素晴らしく、参加した子ども達はまた次もやりたいと思っているし、本物を求めているインバウンドの需要が見込めるイベントであると思う。</li> <li>・ 前夜祭は誰でも参加することができるのだが、外国の方が多く叩いていることがわかる。それが偶然の参加ではなく、宿泊施設と連携をとり、鑿行列に参加す</li> </ul>

	<p>るために来ているというような仕掛けを作ると、市民だけではなく、幅広く集客ができるのではないか。</p>
(高屋茂男委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画では埋蔵文化財、文献史学など文化財専門職の採用による人材育成が盛り込まれており、博物館や資料館などを残すことや価値を高めていくには専門職員が必要であると認識しているので良いと思う。</li> <li>・ 歴史まち歩きにも取り組んでいくということで、各公民館の「まち歩きマップ」が元になっていると思うが、各地域には魅力ある歴史や文化がたくさんあり2時間程度で歩けるコースを提供している。そういったことの情報発信をするとともに、各公民館同士でもその情報を利用し歩き合えるというような取組みを考えてもらいたい。</li> <li>・ 下半期は NHK 連続テレビ小説「ばけばけ」やお城 EXPO があり、それが大きな入口となり、お城を見るだけではなく、そこから各地域に入って歴史的な街並みを歩いてもらえるような取組みがなされるといい。</li> </ul>
(原田順子委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2期実施計画の KPI がとても見やすくなった。今後は周知を行っていきだろうが、文化団体の方には個別に周知することが大事である。</li> <li>・ 委員から出た意見については、どのように反映し計画の取組みに繋げたのかを具体的に明文化しフィードバックするべきである。</li> <li>・ マップに QR コードをとという意見があったが、公共交通の視点においても、乗り継ぎが増えると予測されていることから、どのように乗り継ぎができるかななどの情報は今後必要であると考え。そうしたなかで、文化振興として必要なものと公共交通でほしいものが一致するので、横のつながりとして一元化して取り組むことが、予算も抑えられるので良いのではないか。</li> <li>・ うまく繋がる方法というものはあって、「朗読のしらべ」で行灯づくりのワークショップがあったが、6 月にあるノヴィーのイベントにそれを持っていき、ノヴィーのテーマとコラボすることでお金をかけずに、既存のものをうまく使ってイベントを実施していた。</li> <li>・ 学校やこどもに関して、各委員から意見がたくさんあり、継続するものは継続したいと考える。</li> <li>・ 学校では、こどもたちが伝統文化を知るきっかけづくりをしてほしいということを感じた。大きいことをするのは難しいが、まずは自分の周りの地域にある伝統文化を知ることから始まるので、段階を経ていろいろなものにふれていく取組みができたら良い。</li> </ul>
(小野 亮委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画については見やすくとても良いものである。</li> <li>・ 松江市では、松江城や堀尾吉晴の話がよくあるが、幕末の城下町松江の話が興味深く、そのあたりの歴史をクローズアップした取組みができるとまた面白いと思う。そこから小泉八雲の暮らしや近現代の松江の文化につながるというような、面とらえるということである。</li> <li>・ 茶の湯の文化、和菓子の文化、職人の文化など近世松江を代表するアイテムは存</li> </ul>

	<p>在するが、それを面でもとらえている情報が少ないと感じる。点では存在するが、全体を見たときに松江市民はそこでどんな暮らしをしていたのかが見えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ また歴史などの情報を調べると個人ブログなどに掲載されていることもよくあるので、例えば企業が企業文化を蓄積するためにウィキペディアを作っているが同じように「松江の文化歴史ウィキペディア」を作って、誰でも自由に更新できるようなものを用意しても面白いと思う。</li> <li>・ 電動キックボード、レンタルサイクル、スローモビリティの導入を考えてはいないのか。利用については問題もあると思うが、観光客の足として気軽に利用できるようになれば、市内の周遊性も上がるし、賑わいの創出にも繋がる。</li> </ul>
(小泉凡副会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石橋委員からもご意見があったが、NHK では「小泉八雲とセツ」の文化背景を確認する番組を2つ以上考えていると伺っている。</li> <li>・ 小泉八雲関係では、令和6年度に地域活性化企業人として来られている寺島さんの大活躍により、洋菓子や・老舗和菓子店、ホテルやレストランで小泉八雲とセツをテーマとする非常に多彩な商品が誕生して、賑わいを体感することができた。また「小泉セツの愛した謡と小鼓」の体験イベントが企画され、今まで全くなかった発想である伝統文化を小泉セツの切り口で感じられる斬新なイベントが開催されたことは意義があったと考える。今年も継続されるということで嬉しく思っている。</li> <li>・ 大阪万博では、松江市 SDGs関係のブースで、松江市の伝統文化を体験できると聞いている。アイルランド館においても怪談など多数展示されるし、アイルランドの方で万博の帰りに松江市に寄ると言っている方もいた。</li> <li>・ 令和7年度はそれらの対応で短期的に大変になると思うが、そういったところへの対応もしてもらいたい。</li> <li>・ 小泉八雲旧居が今年1月は去年と比べて211%になっている。お客さんが倍増しているが、さらに増えることでオーバーツーリズム気味になることを懸念している。そうしたときに、二次交通も含めてこの期間になんとかなればと思っている。</li> <li>・ アイルランドで開催された怪談アート展にも多数の人が来ており、松江への関心もかなり高まっている。この機会に行政からも海外へ発信し、インバウンドの方に来てもらえるよう取り組んでほしい。</li> <li>・ 令和8年3月には「ばけばけ」も終わるので、その後の持続可能ということを視野に入れた取組みも重要になる。小泉八雲旧居の保存と活用を全面公開へ向けて取り組んでいきたい。</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2期計画は委員の先生のご尽力もあり、分かりやすく説得力のある形でまとめてもらった。KPI もかなり高めに設定しているものもありますが、未達であっても何が原因であったかを検証し、引き続き努力していただきたい。</li> <li>・ 令和7年度事業計画について、多様な文化資源が存在している松江のメリットは非常に大きく、文化で食べていける数少ない都市のひとつであると思っている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントがたくさんあるが、これをうまく持続的な文化観光につなげていくことが重要であり、そのために歴史的な景観や水辺空間、食文化であるお茶は総合芸術でもあるが、そういったものをイベントとして展開し、地元にお金が落ちるような仕組みを作ってもらい、それがふるさと納税や、あるいは税收となり、文化に回る資源として少しでも増えるよう繋がっていけばいいと思う。</li> <li>・ 上定市長より一言お願いする。</li> </ul>
(上定市長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小野委員よりいただいた、電動キックボードやグリーンスローモビリティですが、検討しており実証実験もしているが、導入にまで至っていない。</li> <li>・ 2次交通は観光客を受け入れるうえで大きな課題となっているが、公共交通のあり方を見直すなかで、事業者の皆様と協力してライドシェアをすでに導入しており、バスの自動運転についても検討を進めているところであり、全体的な観光客の受け入れ体制ということも含めて取り組んでいく。</li> <li>・ 関連して、松江市は中国地方で初めて宿泊税を導入する。5,000円以上の宿泊に対し一泊あたり200円を納めていただき、実績ベースでいけば3億円の収入を見込める。それを松江の観光産業に充当していくとともに、文化振興へもつなげていきたいと考える。</li> <li>・ 万博については、SDGsに関連するブースで、玉造温泉のお湯を使った足湯の体験も行うこととしている。全国温泉ツーリズム協議会との繋がりもあり、日本の温泉文化を海外へ広める取組みを行うので、うまく文化も掛け合わせて持っていきたいと思う。</li> <li>・ 伊藤委員からもご意見をいただいたとおり、水辺ステージが完成した。伝統文化芸術については、披露の場があり、たくさんの方に観ていただき、こどもたちにやる気が芽生えていく、そんな循環が生まれていくためにも舞台は重要であると認識している。</li> <li>・ 市長室のすぐ前にショーケースがあり、3か月ごとに様々な展示を行っている。今は島根半島部の4つの地域、島根・鹿島・美保関・八束について、文化芸能を含めた展示を行っている。庁舎見学に来られた市民の皆様に見ていただいているが、そういう地道な取組みを情報発信のひとつとして続けてまいりたい。</li> <li>・ 本日は大変貴重なご意見をいただき感謝する。一つ一つを受け止め、今回のご意見をどのように反映したかをご報告していく。</li> </ul>

5. その他	
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他事務局からお願いする。</li> </ul>
(今岡課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の皆様次期の改選について説明する。 ＜説明＞</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の改選について、何か質問があれば発言をお願いする。     《質問なし》</li> <li>・ 以上で、予定していた内容はすべて終了する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々なご意見をいただき感謝申し上げます。</li> <li>・ それでは、事務局へお返しする。</li> </ul>
--	---

<b>6. 閉会</b>	
(桑原部長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 垣内会長、円滑な議事進行をしていただき感謝する。</li> <li>・ 本日は、委員の皆さまからは大変貴重なご意見を頂戴し、大変感謝する。</li> <li>・ 最後に、垣内会長から本日の審議会の総括をお願いする。</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は第 2 期計画をお認めいただいた。</li> <li>・ 計画スタートラインであるので、この先どういう形で進むのか、市長からも力強いコメントもあったので、大変期待をしている。</li> <li>・ 委員の皆様からのご支援、それからご助言もまた頂戴いただけるようお願いする。</li> </ul>
(桑原部長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回審議会は、委員改選の後、本年 9 月に予定している。 詳しい日程については、後日改めて事務局から連絡する。</li> <li>・ その間、メールや電話などで情報共有させていただき、ご意見をいただければと思うので、引き続きご協力いただくよう、よろしく願います。</li> <li>・ 以上をもって「第9回松江市伝統文化芸術振興審議会」を終了する。</li> <li>・ 皆様ありがとうございました。</li> </ul>